

令和5年12月18日

柏市長
太田 和美 殿

柏市風早北部地域ふるさと協議会
会長 牧野 好延

柏市の防災活動に関わる風早北部地域住民からの要望書

常日頃より、柏市の自然災害対策に関わる諸行政への取組みに敬意を表しますとともに、当会の防災活動に対し、深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年1月16日付で当会会長名にて貴職に対し標題の要望書を提出、その後、同年2月には危機管理部長との協議を実施し、私ども風早北部地域住民からの市民防災に関する関心事項や、市の防災行政についての課題と思われる内容を指摘し、その改善を要望しました。

当該協議を通じ、柏市からは一部前向きと評価できる内容での回答はございましたが、依然、未解決あるいは解決の兆しのない（市として実施を予定していない）内容も少なくなく、私どもとしては、現状の市の防災行政では、大規模災害が発生した際は、必ずしも安心して43万人市民の生命は守ることは難しく、今までに経験のない規模の災害の前に市民社会は確実に大混乱すると覚悟せざるを得ません。

今回、以下に示しました要望事項は、これまでに私どもから柏市に対して繰り返し申しあげている内容が多いですが、新規要望事案を含め、これらにつきまして是非前向きな市の回答をお願いいたします。また仮に市としてこれらの要望に対応ができない（しない）とのご回答につきましても、私ども地域住民が納得のいく理由の提示を何卒お願いいたします。

記

1. 柏市総合防災訓練を真に実りある内容としていただくため、市全体での防災活動を網羅する訓練の実現を強く求めます

現行の柏市実施の市内の一部地域（今年度は柏の葉地域を対象に9月30日に実施）で展開する総合防災訓練は、市内21ブロックの一箇所を対象地を

絞り、その地区の住民を中心に実施する訓練を市の総合防災訓練として「三年に一度」の事業が行われています。要するに、柏市全体に対し防災訓練をくまなく行うために計算上は60年以上の歳月を要しますので、市民全体に防災訓練やその体験がいきわたるには途方もない時間を要します。本当にこれが真に実効性のある市民参加の防災訓練といえるのでしょうか？

市が現在実施している当該訓練自体にも課題が指摘されます。例えば、今回初めて実施（市民へ実施を呼び掛け）しましたシェイクアウト訓練につき、実施呼び掛けを来年度の活動にどのようにつなげられるのかが重要と考えます。

私どもは後述でも要望するように、災害時に市民が大きな怪我をしないことが非常に重要であることを申しあげ、このシェイクアウト訓練を毎年継続して市民に実施を求めることが大切であると考えます。そのため、今回の内容がどれくらい市民に伝わったかを是非アンケート等を通じヒアリングし、その結果を評価していただきたいと要望します。

また今年度は柏の葉地区を会場に実施された防災訓練についても、その結果を評価していただき、こうした市の一部地域を会場に実施すること自体につき是非評価をお願いします。その結果を基に、協議において私どもと議論をさせていただきたく思います。

私どもは、柏市全体での広範囲な訓練の実現以外に、現行の柏市地域防災計画の実行性を正しく評価することは難しいと考え、市内広域での訓練実施を求めます。本要望につきましては、今年9月16日に開催されました「太田市長と市民のふるさと懇談会・かずミーティング」におきまして当会出席者から直接市長に申しあげており、市長のお考えを含めた市のご見解をいただき、その内容に基づいた市側との協議をさせていただきたく存じます。その協議の中で、現行の柏市防災行政機構の問題点をいくつか指摘し、その改善にむけた市の業務の在り方、市の防災機構の見直し要求なども求めて参ります。

次に、防災訓練に関しての個別にの要望を以下に申しあげますので、その実現についても、何卒ご検討をお願いします。

- ✓ 災害発生時の被害状況を把握する手段として、市はドローンの使用を計画されていると聞き及んでいます。実際にドローンを使用できる状況でしたら、当然のことながら、防災訓練時にもドローンを使用した状況把握を実施願います。また、住民から収集した情報が各地区災害対策本部を経由し、本庁舎の市災害対策本部、更に警察、消防、病院等の医療施設等関係機関や支援部隊に伝わるような連携訓練の実施、市職員（市議会議員や各近隣センター職員、教育委員会、市が市民に委嘱している特

別職員等を含みます)の行動訓練につき、これを毎年実施されるよう要望します。

- ✓ 上記訓練を通じ、平時においても、公的機関(警察・消防署・消防団・総合病院や個人医院等)間の支援体制、更に、市から市民への情報伝達行動が市民に見える形となるよう要望します。
- ✓ 発災時の市からの連絡、情報提供手段として、防災無線やパンザマストの一層積極的な活用、消防車サイレンの活用につき、市民がその仕組みを理解しておけるような広報を平時から行っていただくことを要望します。

2. 市内(当地域を含む)の指定避難所の狭隘化を解消する手段として、マイカー&マイテント避難を市民が選択できるように、その場所の十分な確保を要望します

当地域は団地、マンション等の集合住宅の割合が高いことから、大規模災害での全戸避難による避難所不足やその対象地の狭隘(きょうあい)が大きな問題となっております。

柏市も本件を認識し、民間施設や団体集会施設の避難場所開放を訴えておりますが、所詮、各団体の努力に委ね、自ら率先しての避難場所拡大には必ずしも舵をきっていないものと感じております。更に昨年度末、市内全市立中学校を対象に、ペット同伴避難場所確保をすすめ、これも、実態は十分なスペース確保には到底至らず、かえって有事に一般市民避難住民との間でのトラブルの源になる懸念が潜んでおります。

私どもは、こうした諸課題への対応として、マイカー&マイテント避難を市民に広く奨める取り組みが一刻も早く必要であると考えます。本件を確実に実現の方向に導くため、その対象地(駐車場)の確保が欠かせません。市内の市管理公園等の共用地だけでなく、民間駐車場の利用に関する関係業界との協力関係の締結など、是非、市行政でないと実現が難しい部分につき、柏市のご努力をお願いします。

3. 大規模災害時の緊急医療施設設置以外の手段として、災害時に市民が大怪我をしないための方策を講じて頂くよう強く要望します

大規模医療機関がない当地域では、こうした施設に災害有事には各地の医師や看護師が招集され、当地域内から災害時に医師、看護師が一人もいなくなる最悪の事態が想定されます。平時なら助かる生命が助からなくなる事態を回避するための具体的施策の実施が求められます。

柏市は現在、災害有事に活用できる緊急時の医療施設設置に向け、関係団体と協議を進めていますが、一向にその進展状況については市民に伝わっていません。その傍ら、私どもが独自に関係団体をよく知る市民から聴取したところ、本件につき決して良い話しは聞こえず、むしろセブンパークアリオ柏では緊急医療体制整備実現は難しいと断言される方々も決して少なくありません。これが本当であれば、到底、現在柏市が検討されていることも絵に描いた餅であり、そうした内容に私どもがすぎること自体、見通しは決して明るくありません。先ずは、現在検討されている本件の見通しを明らかにしていただくことを求めます。

並行して、私どもは、こうしたゴールの見えない内容に期待や頼りを寄せることのリスクを回避し、大規模災害時に住民が大怪我をしない、させない取り組みに邁進する選択が非常に重要と考えます。

その具体的内容は一昨年12月の柏市総務部長及び同部（当時）防災安全課との意見交換の機会に当会から申し上げており、今回も下記の内容にて柏市宛その実現を求めます。

① 独居高齢者宅への家具転倒防止に係る作業や物資経費の補助金支給策の導入を求めます

高齢者のみの世帯が今後も増加する中、家具転倒防止の作業従事に制約のある高齢者世帯では、その必要性を感じるものの、インターネット情報での防止作業ノウハウを自ら学習することにも躊躇されるのが実情です。体力的な面も相俟って自らによる作業が難しく、結果として転倒防止措置が未完了世帯の存在は、震災時の被害拡大の危険性が憂慮されます。有償で作業を他に依頼する際の経費に関わる補助金制度、あるいは必要な防止装置（機材）の無償配給につきまして、その実現を前向きにご検討願います。

② 家具転倒防止措置の実施を啓発する市民向け関連講習会の定期的実施を要望します。

上記の転倒防止作業ノウハウを一般市民や各地域団体の防災担当役員・防災ボランティア従事者に教宣することを通じ、発災時の犠牲者や怪我人を少しでも減らし、二次災害に及ぶことを防ぐよう、市民に転倒防止策の重要性を一層啓発される目的で、関連の講習会を定期的の実施されるよう強く要望します。

4. 番外として

柏市民全体の防災力を把握しておくことも市の重要な役割と考えます。現状

の各地域団体に存在します自主防災組織・自主防災会・防災委員会などの組織活動状況をどう把握されていますか？ 必ずしも「組織率」だけでは災害時の防災対応力を計るのは難しく、現在の各団体の防災活動状況の把握が先ずは急務であると考えます。

以上を意見、要望しますので、柏市からのご対応、回答をお願いします。なお、その回答は、今後、貴職及び防災担当部署の職員がご参加いただき、私ども風早北部地域ふるさと協議会との協議の場でご披露をお願い申し上げます。

本件の当会担当窓口
風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部長 古山博之
同 副部長 石河優子
同 副部長 石戸幸恵
連絡先：boux2@kazakita.org